



今年もはまなす荘カレンダーが出来ました



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

十月十二日から十三日にかけて、中部・関東・東北地方を通過した台風十九号、二十五日の低気圧による大雨が、再び同地区を中心に襲い、甚大な被害を引き起こしました。被災された皆様には、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

今回の台風と大雨では、数多くの河川が氾濫して人的・物的被害をもたらし、車の水没や家屋の浸水被害も多数発生しました。常日頃から、いわき市は、台風が来ても運よく通過してくれていたの、信じ難い初めての出来事でした。当法人の事業所でも、様々な被害を受け、未だに不安な毎日を過ごされている人がいます。本当に心が痛みます。

ところで今回の水害ばかりでなく、我々にとって危機管理や防災に対する認識等、災害時の対応は、どのように考えていますか。幸いに人的被

日々是好日

所長：志賀道子

害はなかったものの、二週間近く断水したり、利用者が避難先で不自由な生活を余儀無くされたり、通常通りの事業が出来なくて、利用者や職員が路頭に迷う等、現実を見ると、本当に「私たちの出来ることって何なのか」を問われた気がします。断水は、行政が自衛隊の給水を手配して頂きました。避難した利用者には、皆様からの支援物資やボランティアで毎日ではなくても励まされました。そこで、今回私たちは、利用者の人権擁護や意思決定支援が、現場で適切に行われたらどうかということですが、命を守るだけ

けでなく、こういう時だからこそ、私たちは、利用者に寄り添い意思表出支援の努力を課せられていくことに気がかされました。



南限の花

寒々とした色彩も乏しい冬の景色の楽しみは木々の枝ぶりです。夏の間鬱蒼とした葉に覆われていた木々もすっかり葉を落としそれぞれの持つ枝の形がはっきりと姿を現します。毎年の事ながら木はこんな形をしているのかと改めて空を見上げながら気づかされます。午後の日差しを受けて地面に長く映る影にも枝の美しさを感じます。林道や並木道、青空を下から見上げた時の見事な斑模様。同じ法則性を持ちながらもどれも同じものがない事に感心してしまいます。芽吹きの時期はもうすぐです。その時の為にじっと耐え忍んで春を待っているのでしょうか。外見だけでは眠っているような木々に近づくとふっくらとした芽が春の準備を静かに始めています。



九月七日に「第四十三回みはま福祉祭り」がはまぎく荘にて開催されました。

今年は、ステージが室内となっており、天候に左右されることなく実施となりました。

オープニングでは、渡辺幸子さんとはまぎく荘の利用者によるトーンチャイムから始まりました。アトラクション団体では、モキハナ夏井によるフラダンスや久ノ浜海



神乱舞のよきこい、加藤ちゃんさんのラテンパーカッションで会場を大いに盛り上げて頂きました。

また、多くのボランティアの方々のご支援、ご協力まことにありがとうございます。来年は、はまなす荘が会場となりますのでよろしくお願ひ致します。

桜が丘愛生園との 自治会交流会

十月三十日、桜が丘愛生園とはまなす荘の自治会交流会を実施しました。今年、はまなす荘の自治会役員四名と職員二名が桜が丘愛生園を訪問しました。

桜が丘愛生園では、まず、お互いに自己紹介をしました。そして、歓談

しながら昼食を食べました。その後、電球の形をした置物の中にビーズや洗濯のりを入れ、素敵な飾りを作りました。また、カラオケを実施し、お互いに得意な曲や好きな曲を披露しました。

今回の交流会は、はまなす荘の自治会の役員の方にとって、とても濃く、良い思い出



になったと思います。来年は桜が丘愛生園の自治会役員の方や職員の方をはまなす荘に招待する番です。みなさんが楽しく交流し、仲を深められるような会となるよう、計画を進めていきたいと思ひます。

敬老の招待行事

十月三十一日(木)、スパリゾートハワイアンズ(以下ハワイアンズ)が毎年行っている社会貢献活動「ハワイアンズ敬老招待会」が開催され、七十歳以上のご高齢の二名の利用者さんが参加しました。ハワイアンズでは、まず、

昼食を食べ、その後、フラダンスを見ました。多くのフラガールの明るい笑顔を見て、ご高齢の二名の利用者さんも元気づけられたように思います。お土産のお菓子を買ったたり、キーホルダーを買ったりと、満足な買い物ができるようです。



した一日は、ご高齢の二名の利用者さんにとって、たくさんの元気をもらうことができたと有意義な一日になったと思います。



台風十九号を振り返って

令和元年十月、台風十九号が福島県に上陸しました。はまなす荘は、十二日十五時十五分警戒レベル四発令に伴い、利用者の安全確保の為、土砂災害警戒区域の山を背負っている東側居住棟から西側居住棟への避難を行いました。

避難後も雨は降り、夜間、夏井川が氾濫し、はまなす荘がある平窪地区は広範囲で浸水、甚大な水害にありました。はまなす荘は、平窪地区の中でも高い位置にあり、氾濫による水害もなく、土砂被害も免れました。

台風が去った後、浄水場の被災により、長期間の断水となりましたが、関係各位や自衛隊のご支援、ご協力を頂きながら、被災した職員もいる中、懸命に支援を行い、利用者の安全が守られ、健康被害もなく乗り切ることが出来ました。

今回を教訓に、防災・減災に努め、自助力を高めながら、

地域や関係各位とのつながりをさらに深めていきたいと思えます。

クリスマス・忘年会

十二月五日(木)にパレスいわやにて、クリスマス・忘年会を開催しました。今年度も利用者さんや職員だけではなく、日頃お世話になっているボランティアの方も招待させていただき、計八十一名で料理を囲みながら、クリスマス・忘年会を楽しみました。

まずはクリスマス会です。利用者さんが職員と一緒にキャンドルサービスを行いました。その後、讃美歌を皆で歌ったり、利用者さんによる聖書拝読でクリスマス気分を盛りあげてくれました。



忘年会では、利用者さんによるカラオケを行いました。普段、カラオケクラブでない利用者さんも自分の好きな歌を歌うことができ、楽しい時間を過ごしていました。恒例のサンタさんが登場してのプレゼント交換は、じゃんけん大会といった形式で行いました。皆さん、一生懸命、じゃんけん大会に参加し、素敵なプレゼントを受け取っていました。多くの笑顔が見られ今年も楽しいクリスマス・忘年会になったと思います。

グループ旅行



一班

グループ旅行一班は、七月四〜五日の一泊でムーミンバレーパークと品川水族館の旅行に出かけました。目的地のムーミンバレーパークに向かうバスの車内では、晴れることを期待しつつ、空とにら



めっこしながらの移動でした。しかし、雨は止むことなく、カッパを着てテーパーク内を見て回り、ご飯を食べたり、お土産を買ったりしました。宿は、鵜外荘に宿泊し、食事を愉しみ、雨風で疲れた身体を癒しました。



二日目もあいにくのくもり眺めたり、アシカのショーを観ることができました。二日間とも天気には恵まれませんでしたが、とても有意義な旅行となりました。

二日目もあいにくのくもり眺めたり、アシカのショーを観ることができました。二日間とも天気には恵まれませんでしたが、とても有意義な旅行となりました。

二班

グループ旅行二班は、十月三日〜四日で八景島シーパラダイスと浅草寺の旅に出掛けて来ました。十月だというのに日差しは強く、駐車場から会場まで歩いただけで汗ばんでしまう程の良い天気でした。ショーを観る前に先ずは腹ごしらえ。各々好きなものを食べ、潮風が気持ち良く吹く中でシロイルカ達のショーに歓声を上げたり、拍手をしたりと楽しんでいました。宿の鵜外荘では、美味しい料理に舌鼓を打ち、カラオケでは、自慢の喉を披露しました。

二日目は朝から雨風が強く、浅草寺見学を断念しなければならなかったかと思えながら出発しましたが、浅草寺に着くとさきさままでの雨風が嘘のように止み、浅草寺をお参りする事が出来ました。車椅子に傘をさしての旅行にならず、本当に良かったです。



グループ旅行

日帰り



日帰り班

グループ旅行日帰り班は、十月二十四日に天候にも恵まれ「那須千本松牧場」散策を楽しんできました。まずは利用者さんの楽しみの一つである美味しい食事を牧場内のレストランでゆっくり食事を楽しみ、お腹をいっぱいにしました。その後は思い思いの時間を過ごし、動物と触れあ

たり、美味しいアイスクリームを食べたり旅行を満喫していました。

家族へのお土産も家族の好きな物を思い浮かべ買物を楽しみました。大きな杉の木が並ぶ木立を歩き、いつもと違う空気を吸い利用者さんにも笑顔が見られ素敵な一日を過ごす事が出来ました。また来年も元気に参加したいですね。



日帰り医務班

グループ旅行日帰り医務班は、十一月十九日(火)に、北茨城市漁業歴史資料館『よう・そろー』を見学し、勿来温泉『関の湯』にて食事をしました。

北茨城市漁業歴史資料館では、北茨城市大津町の「大祭・大津御船祭り」で使用される「祭事船」を見て、その大きさに、利用者の皆さんからも「すごい」と言った声がかれましました。勿来温泉『関の湯』では、豪華な料理を食べ、ビンゴゲームやカラオケなどを楽しみました。お土産も購入することができ、皆さんも満足されている様子でした。帰りのバスで、利用者さんの感想を聞くと「美味しかった」、「楽しかった」といった声が返ってきました。旅先での従業員の方々の懇切丁寧な対応もあり、利用者さんも心穏やかに今回の旅行を楽しむことができ、素敵な思い出の一つになったと思います。



北茨城市漁業歴史資料館では、北茨城市大津町の「大祭・大津御船祭り」で使用される「祭事船」を見て、その大きさに、利用者の皆さんからも「すごい」と言った声がかれましました。勿来温泉『関の湯』では、豪華な料理を食べ、ビンゴゲームやカラオケなどを楽しみました。お土産も購入することができ、皆さんも満足されている様子でした。帰りのバスで、利用者さんの感想を聞くと「美味しかった」、「楽しかった」といった声が返ってきました。旅先での従業員の方々の懇切丁寧な対応もあり、利用者さんも心穏やかに今回の旅行を楽しむことができ、素敵な思い出の一つになったと思います。

ハイジック

はまなす荘 カレンダー製作

はまなす荘の年中活動の一つである「さくら班」の利用者十八名と職員六名で、四月から作成していた二〇二〇年のカレンダーが完成し、十二月のクリスマス・忘年会の招待者の方へお礼として配りました。また、法人の施設には利用者さんと一緒に配り、「大事に使いますね」との嬉しい言葉をいただきました。

お花見やクリスマスなど、その月ごとのテーマを決め、ちぎった色紙を模様にして貼ったり、てるてる坊主に顔を描いたり、仕上げのテープを付けたりなど、利用者さんにそれぞれの方法で取り組んでも



らい、可愛らしい作品に仕上がりました。自分たちで作ったカレンダーを皆さんに見て楽しんでもらえることが、新しい一年の活動に向けての励みとなっています。



寄附

- イトーヨーカドー様
 - クレハ労働組合様
 - 大平 剛様 稲葉 圭子様
 - 中村 文宣様 新妻 登様
- (順不同)

表彰

全国社会福祉協議会会長表彰
渡邊 孝代

退職職員

阿部早矢香支援員補助
十一月三十日付で退職されました。新天地でも頑張ってください。

編集後記

今年、十二支は「子」、干支は「庚子」の年となっています。 「変化が多い年」とされておき、新しいことを始めると舌のこじりです。 変化を恐れず新しいことにチャレンジしていきましょう。

